

# 平成 31 年度 自然保育推進事業 活動報告書

## 1、団体名

社会福祉法人みどり会 みどりの森ようこう保育園（広島県廿日市市陽光台 5 丁目 1 番地）

## 2、今年度の活動概要

一年を通して、どの年齢の子どもたちも園庭での泥遊び、水、自然物に触れて遊ぶことを楽しんでいます。また、園外でも山や公園などに出掛け、しっかりと自分の足で歩くことを大切にしています。子どもの主体性を大切に、子どもたちが自ら考え、発見し、あそびの中で、友だちや保育士と心を通わせることを楽しんでいます。

## 3、活動内容

広い園庭、自然に囲まれた環境の中で、子どもたちは様々な実体験を積んでいき、生きる力を育てていきました。季節の山菜に触れ、料理を楽しんだり、川や海などでは心も身体も開放的に遊び、山登りで仲間と共に達成感や喜びを味わう中で一人ひとりの成長がありました。その中でも、年長組を中心に一年間、『畑づくり』『食育』についての活動報告をします。

### 【畑作り】

「お泊りキャンプでおいしい野菜をみんなで食べたい！」という思いから、まずは何が必要かを考え、肥料を買いに行きました。「そろそろ変わってあげようか?」「手伝うよ」と、みんなで力を合わせて子どもたちだけの力で重たい肥料を運びました。



畑を耕す力仕事。今までたくさん遊んだことで育ってきた足腰を使い、しっかり力を入れる姿がありました。栄養があって柔らかい土を作るために、汗を流しながら取り組みました。



みんなで何の野菜を植えるか話し合う子どもたち。

「オクラのサラダ食べたい!」「野菜のカレーも食べたい!」とそれぞれが思いを伝え合いました。



今年はトマト、ナス、オクラ、キュウリを育てることになりました。苗も自分たちで選び、大切に優しい手つきで植えていました。



## 【日々のお世話】

毎日の水やりを日課にし、野菜が成長していく様子や変化を目で見て、触って、感じていきます。「見て!昨日はまだ小さかったのに、大きくなってる!」「色が変わってきた!」と日々新たな発見を楽しむ子どもたちの目は、いきいきと輝き、喜びに溢れていました。



毎日お世話をすることの繰り返しが、「自分たちが育てた大切な野菜」という意識につながります。水やりだけでなく、間引きをしたり、支柱をたてたり…。手間暇かけて大切に育てていきました。

## 【収



実った野菜を収穫すると、「めっちゃ大きいのとれた!」「早く食べたい!」と仲間たちと喜び合う子どもたち。



川遊びに行ったときに、収穫した野菜を持っていき、川の水で冷やして、パクリ!「おいしい!さいこう!」「もっと食べたいな〜」と塩だけの味付けでも大満足の様子でした。素材の味をそのままいただくことで、しっかりと味覚も育っていきました。

### 【お泊りキャンプでの夜ご飯づくり】



お泊りキャンプでは、畑で収穫した野菜をたっぷりを使い、カレーとサラダづくりをしました。包丁やピーラーを丁寧に使い、「キュウリは硬いから難しいな」「なすびは柔らかいよね」と調理する中でも気づくことがたくさん。畑作りから、自分たちの力で育てた野菜は特別おいしく、食べることの喜びをみんなと一緒に感じることができました。

#### <畑作りを通して…>

入園したばかりの頃は野菜を食べることを好まない姿が多く見られた年長児でしたが、畑作り、野菜の収穫を通して食の大切さ、味わうことの喜びを経験することで、どの子も野菜を食べることができるようになりました。また、大人主導ではなく子どもが主体となり、仲間と共に力を合わせ感じ合うことで、子どもたちはより意欲的に物事に関わっていき「主体性の大切さ」にも気づかされる取り組みでした。自然の中でたくさん遊ぶことで食欲が増し「食育」を通し心も身体も成長できる保育をしていきたいと改めて感じました。